

道路メンテナンス（老朽化対策）

老朽化する道路施設が増加することを踏まえ、事前に重大な損傷等を防ぐため、適切に点検・修繕を実施するメンテナンスサイクルにより、長寿命化を図ります。

老朽化対策

国道7号維持管理 (勝平はなますトンネル)

定期点検を行った結果、ひび割れなどの老朽化が判明したため、トンネル補修工事を実施。

現状



ひび割れ(側壁部)

対策



ひび割れ注入工法による補修 ※写真は施工中

新技術の活用

効率的な点検・修繕を行うために新技術の導入をしています。



飛行ロボット(ドローン)による打音調査



国道46号 生保内スノーシェッド



スノーシェッドをスノーキーパーに更新

秋田県道路メンテナンス会議

「秋田県道路メンテナンス会議」は、技術力の向上、インフラの長寿命化の推進、維持管理についての情報共有や課題解決に向けて道路管理者が連携を深め、効果的な道路の管理を行うための組織として平成26年度に設立され、主に市町村の技術支援を重点において活動を展開しております。

橋のメンテナンスサイクル



- ・損傷の早期発見、補修により安全・安心な道路を守ります。
- ・災害時などの物資輸送の道路ネットワークを維持します。

秋田県の橋の高齢化

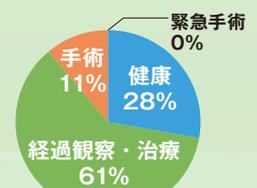
橋の高齢化は急速に進み、20年後には完成してから50年以上経過している橋が3/4程度まで増加します。



検査結果は、原因と状態に応じて4段階で分類されます。

	人	道路施設
I	健康	健全
II	経過観察・治療	予防保全段階
III	手術	早期措置段階
IV	緊急手術	緊急措置段階

秋田県の橋の判定区分の割合



出展：道路メンテナンス年報(1巡目[H26~H30])に点検を実施した県内の橋約12,000橋の判定結果)



秋田県道路メンテナンス会議



点検支援技術活用講習会